

1-D-8. 三菱倉庫(株)

事例件名	大井冷蔵倉庫における省資源への取組み (正式名称:三菱倉庫株式会社東京支店大井冷蔵営業所大井冷蔵倉庫)
理由	<p>〈物流施設〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設運営費の削減 ・ 自主的な環境対策
具体策	<ol style="list-style-type: none"> 1) ガスエンジン発電機およびアンモニア吸収式冷凍機によるコージェネレーションシステムを採用(ガスエンジンで発電すると共に、排熱を冷凍機の熱源として利用) 2) 冷凍庫用冷却設備にノンフロン冷凍機(アンモニア吸収式冷凍機)を採用 3) 荷捌場の冷却設備に氷蓄熱型空調設備を採用 4) 施設全体の使用電力量を監理するデマンドコントローラーを採用(あらかじめ最大値を設定すると、使用電力が設定値に近づくと警告を発すると共に、照明を自動的にカットする) 5) 事務所照明に、自動調光装置を採用 <p>* なお、子会社を通じ、設備の維持・管理を実施している。</p>
具体的効果	コージェネレーションシステムの導入により、省エネ及び二酸化炭素排出量を削減(省エネ率=約 7%、二酸化炭素排出量削減率=約 10%)
経緯課題	<p>【ガスコージェネレーションシステムの導入について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 安全性に優れる高圧ガス管が当該倉庫施設の近くに配置されていたので、採用することができた。 2) 導入に際しては、冷蔵倉庫など空調化率の高い施設でないと排熱利用が難しい。 3) 導入により、費用が割高となる。